



## 設置マニュアル

- Ver.3.00 -





#### 設置作業の全体の流れ(目次) (1)開梱作業 2 設置台の組み付け 4 3 データ表示機の取り付け 5 4 トレパチ本体の取り付け 6-7 (5) カードディスペンサーの取り付け 8 6 配線の接続 9-15 $\overline{7}$ 動作確認 16-28 8 消音パネルの取り付け 29 9 30-31 設置台の固定 (10)未使用部品の保管など 32 (11)主なトラブル 33-38 オプションについて **※** 39 エアロビック・トレパチ! 40-41 **※** 設置台 • 遊技機本体各部名称 42-46

#### 必要工具

- プラスドライバー(#2)
- カッターナイフ(開梱用)
- スパナ (13 mm)
- ラチェットレンチ(17 mm)
- 丸型水平器、データ表示機用リモコン

設置作業時には必ず「出荷連絡票」を持参して下さい





## ① 開枫作業

梱包箱を開梱し、設置台(上下ユニット)・トレパチ本体・付属品が すべて揃っているか、また機材の破損等がないかを確認します。

持参した「出荷連絡票」を参考に、各機材に貼付されている管理番号 (シリアル番号) に間違いがないかを確認します。

開梱時はキズ等をつけないよう、慎重に取り扱って下さい

電源トランスを入れていた箱については引き続き使用するため、破っ たりしないよう丁寧に取り扱って下さい

## 付属品(1台あたり)

- ●ビスB(トレパチ固定用:2本)
- ●専用球(50球)
- ●データ表示機(1 個)
- ●電源トランス(1個)
- ●取扱説明書 ж3
- ●ユリヤねじ(6本)
- ●連結用スペーサー ※2
- ※1 基本は台数分
- ※2 基本は [台数-1] 個 (使用しない備品は回収)
- ※3 台数に関係なく1 冊

- ●ビスA(設置台固定用:6 本) ●トレパチ固定用プレート(2 枚)
  - ●電源タップ **※**1
  - ●トレパチカード(50枚)
  - ●鍵(1個) **※**1
  - ●連結ボルト **%**2
  - ●游技説明
  - ●カードディスペンサー
  - ●蝶ネジボルト(1本)

(使用しない備品は回収)





## ② 設置台の組み付け

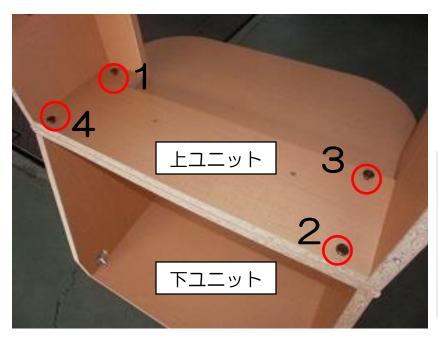
使用工具:プラスドライバー #2

事前確認:消音パネルは取り外した状態で作業をして下さい

設置台ユニットの4 箇所を下記の番号順にビスAで仮止めして位置を 微調整した後、増し締めして完全に固定します。

下ユニットの天板に擦り傷等をつけないよう、上ユニットは丁寧に取り扱って下さい

電動ドライバーを使用する場合は、ビスAのねじ穴(十字溝)を潰してしまわないよう、締め過ぎに注意して下さい







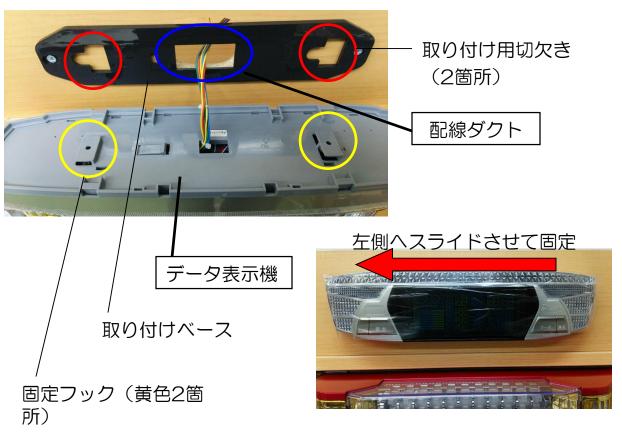


## ③ データ表示機の取り付け

データ表示機の配線類を、上ユニットの「取り付けベース」配線ダクトから背面に通した後、データ表示機を取り付けます。

「取り付け用切欠き」にデータ表示機側の「固定用フック」をはめ込み、 左側へスライドして固定します。データ表示機に保護フィルムが貼っ てある場合は剥がします。

#### 配線を挟み込んで破損させないよう注意して下さい





## ④ トレパチ本体の取り付け

1. 外枠(木枠)を設置台に取り付けます

使用工具:プラスドライバー #2

#### 手順

- 1. 設置台を傷つけないよう、外枠(木枠)を設置台に取り付けます
- 2. 速やかにノブ付ボルトで仮止めして下さい



3. 固定用プレートで外枠(木枠)と設置台を固定します





設置台(上下ユニット)の<u>接合ライン</u>と外枠(木枠)の間に隙間が生じないように取付けます。また、設置台と外枠(木枠)の左右隙間も同間隔を保つように設置固定します。

※どちらの間隔・隙間とも無視して固定すると、球飛びおよび表枠・ 遊技機枠開閉等不具合の原因となってしまいます



## 2. トレパチ本体と設置台を固定します

使用工具: スパナ (13 mm)



設置台上部のノブ付ボルト2本 を締め、ナットをスパナで締め 込みます

外枠を設置台に取り付け後、トレパチ本体を外枠にセットします。

作業後には、トレパチ本体が確実に固定されているか、また表枠・遊技機枠の開閉に問題はないか、必ず確認をして下さい

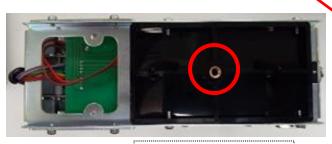


## ⑤ カードディスペンサーの取り付け

設置台上ユニットのカード払出口裏側に取り付け台があります。 テープ止めされたカード払出口LEDハーネスを外します。ハーネスを 噛み込まないように、カードディスペンサーを位置決め穴にセットし、 蝶ネジボルト(1本)で締付固定します。







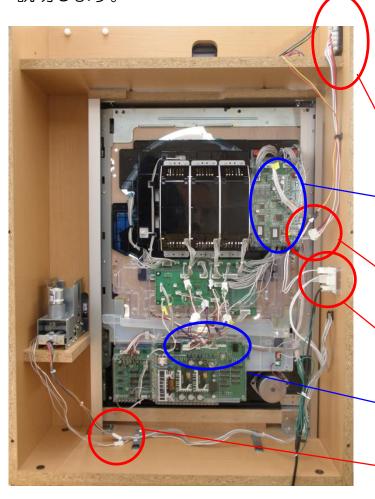
蝶ネジボルト穴





## ⑥ 配線の接続(A・Bタイプ)

トレパチ本体と設置台の配線接続について、次ページ以降にて詳しく 説明します。



A. データ表示機中継基板の接続

E. 空きコネクタ等について

B. データ表示機からの接続等

C. 電源中継基板の接続

E. 空きコネクタ等について

D. カードディスペンサーの接続

#### 配線番号詳細(次ページ以降の番号)

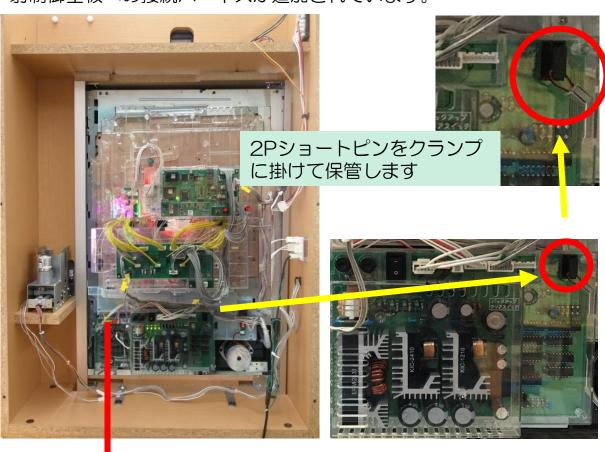
- ①データ表示機ハーネス ②データ表示機電源ハーネス ③データ表示機情報ハーネス
- ④トップランプハーネス ⑤サブ制御トップランプ結束ハーネス
- ⑥電源基板ハーネス ⑦電源中継基板ハーネス ⑧カードディスペンサーハーネス
- ⑨カード払出口LEDハーネス
- ⑩①カードディスペンサーユニットハーネス

**TOYOMARU** 



## ⑥ 配線の接続(Cタイプ)

A・Bタイプの盤面と若干配線方法が異なっております。盤面から発射制御基板への接続ハーネスが追加されています。







## A. データ表示機中継基板の接続

- ・配線①(データ表示機より)を、データ表示機中継基板に接続します(赤丸の部分)
- ・配線②(データ表示機より)については、次ページを参照して下さい



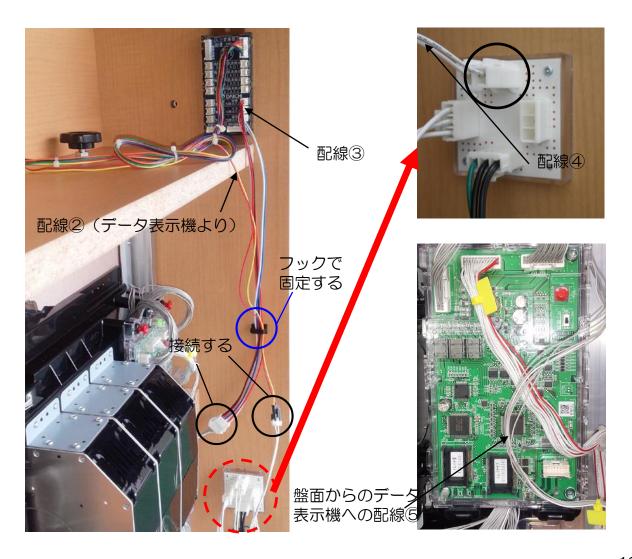
配線② (データ表示機より)

配線③は予めデータ表示機中継基板に取り付けられています



## B. データ表示機からの接続等

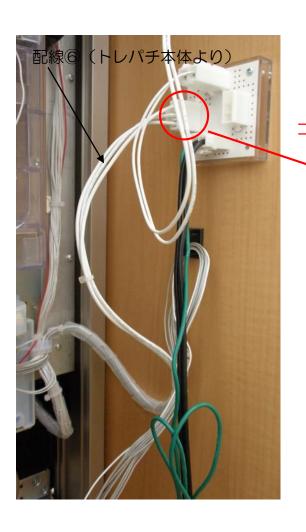
- ・配線②と電源中継基板に装着済みの配線④を接続します
- 配線③と盤面からのデータ表示機への配線⑤を接続します
- 配線(②⇔④)と配線(③⇔⑤)をフックで固定します

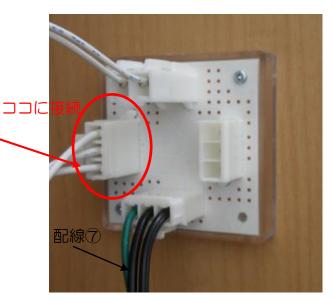




## C. 電源中継基板の接続

- ・配線⑥(トレパチ本体より)を電源中継基板に接続します
- ・配線⑦と電源トランスを接続します



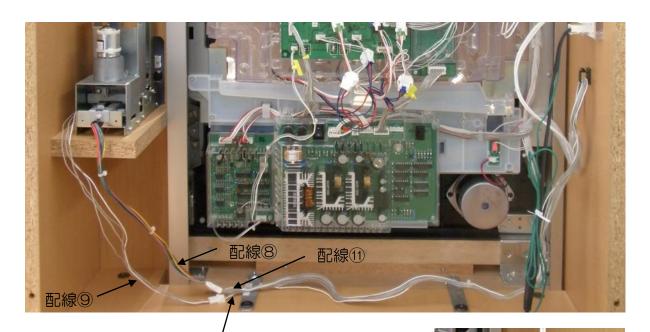


配線では予め電源中継基板に取り付けられています



## D. カードディスペンサーの接続

・配線®⑨(カードディスペンサーより)と、配線⑩⑪(トレパチ本体より)を接続し(⑧⇔⑩・⑨⇔⑪)、フックで固定します

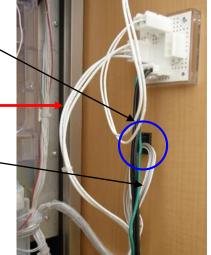


配線(10)

カードディスペンサーハーネスのみフックで固定する

トレパチ本体電源ハーネスはフックで固定しません ※枠を開放した際にフックが外れてしまいます

配線⑩⑪ (トレパチ本体より)





## E. トレパチ本体の空きコネクタ等について

トレパチ本体の基板(サブ制御基板・電源基板)には、使用していない空きコネクタが存在します。ハーネス類の抜けや欠損ではありませんのでご注意下さい。

右図および下図の赤丸で囲まれているコネクタ(4箇所)は使用していません。間違ってハーネスを接続したりすることがないようご注意下さい。

※ 太い赤丸はオプション時に使用されます。







## ⑦ 動作確認

## 1. トレパチカード・専用球の補充

カードディスペンサー内のおもりを取り出し、カードを投入します。



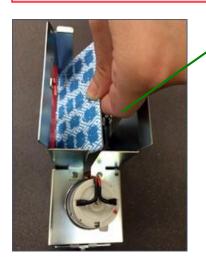




裏面(上)

表面(下)

トレパチカードには裏表(上下)がありますので、裏面が上になるように補充して下さい。上下を逆にして補充すると、払出トラブルの原因となる場合があります。



図のように、カードディスペンサーの左右いずれかの側面にカードを当てながら投入するのがコツです

#### おもりについて

おもりは鎖のついている方を前面 (遊技者側)に向けてセットします。 前後を逆に入れると、おもりが外れなく なる恐れがありますのでご注意下さい。



トレパチカードの仕様が変更される場合があります



## 2. 電飾等の確認

(1) 電源トランスおよびトレパチ本体の電源を投入します。

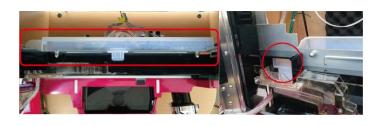


- ⇒ 電源トランスを家庭用100Vコンセントに差し、トレパチ本 体裏面の電源基板のスイッチをONにします
- ② 電源投入後、表枠と盤面の電飾の点灯状態を確認します。
  - $\Rightarrow$  赤  $\rightarrow$  青  $\rightarrow$  緑  $\rightarrow$  白 の順で5 秒間ずつ点灯します
- ※ 白点灯については、盤面のセンター役物内のみです
- ③ データ表示機の表示状態を確認します。

## 3. 発射および循環機構部の確認

- ① 球飛びの状態を確認します。右打ち防止釘の手前に飛ぶように調整されていますが、本体裏面の盤面ドライバ基板のスイッチにて微調整することが可能です。
- ※ 気温低下により、球飛び初動が弱くなる場合があります。
- ② 循環の状態を確認します。発射された球が本体裏面の循環機構部を経由して上皿に戻ってくるかを確認します。

循環機構部 (裏球诵路)



循環機構部 (出口)





## 4. カード払い出しの確認

- ① トレパチ本体を「メンテナンスモード」 [通常払い出しモード] に切り替えます。 (⇒ 次ページ参照)
- ② PUSHボタンを押して払い出し操作を数回行い、カードが正常に 払い出されるかを確認します。
- ③ 上記②の作業上で、PUSHボタンの動作確認も兼ねます。

## 【カード払出口のLED表示について】

カード払出口LEDの表示内容により、現在の状況を確認することが可能です。

LED表示	現在の状態	対応方法
(黄色の点滅)	カード在庫切れ	カードディスペンサーにカー ドを補充する
(赤色の点滅)	払い出し不良 (カード詰ま り)	詰まっているカード(ほぼ最下部のカード)を取り除き、 バックアップクリアスイッチ を押してエラーを解除する





## 【メンテナンスモード[通常払い出しモード]について】

以下の操作を行うことで、カードの払い出し状況を確認するための「メンテナンスモード」[通常払い出しモード] に移行することが可能です。

- バックアップクリアスイッチを押しながらトレパチ本体の電源を 入れます。
- ② PUSHボタンが赤く点灯していれば「メンテナンスモード」への移行完了です。
- ※ ボタンが消灯している場合は①の操作をやり直します
- ③ PUSHボタンを押す毎に、カードが1枚払い出されます。
- ④ 作業終了後は、電源をOFF ⇒ ONして「メンテナンスモード」を解除します。

「メンテナンスモード」には、上記の[通常払い出しモード]のほかに [連続払い出しモード]が存在しますが、多数のカードチェックを行 う際に使用するモードであるため、ここでは説明を割愛します。

[連続払い出しモード] の詳細については、「メンテナンスマニュアル」をご参照下さい。





## 5. スピーカーとデータ表示機の確認

- ① スタート入賞時に、上下3つのスピーカーから変動音が聞こえるかを確認します。
- ② 図柄停止後、スタート回数がデータ表示機に正しくカウントされるかを確認します。



## 6. 1 各設定方法 (Aタイプ)

- ① 音量の調整および確率の設定を行います。
  - ⇒ 出荷時の音量設定は「中」ですが、施設様の使用環境に合わせ、消音~最大の5段階のいずれかに調整して下さい
  - ⇒ 確率は1/35もしくは1/70のいずれかへの設定が可能ですが導入初期は図柄が揃いやすい1/35モードを推奨します。
- ② 音声の設定を行います。
  - ⇒ 出荷時の音声設定は「女性」ですが、切替スイッチにて 「男性」へと変更ができますので、施設様の使用環境に 合わせて調整して下さい
- ③ ボタン演出リーチ・発射強弱の設定を行います。

#### 「ボタンdeチャレンジ」

⇒ 遊技者の技量に応じ、ドラム速度を低速・中速・高速 の3段階のいずれかに設定します

#### 「連打deチャレンジ」

⇒ 連打成功回数は「連打deチャレンジリーチ」の際、 回転速度の難易度と連動して設定します

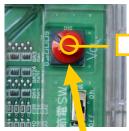
#### 「発射強弱」

⇒ 球飛び範囲内「弱・中・強」の3段階で調整します



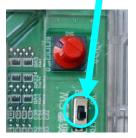


#### 音量調整・確率設定つまみ (サブ制御基板ユニット)

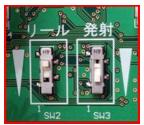


番号表示部









ドラム回転速度・発射強弱設定 (盤面ドライバ基板)

位置	音量	確率
0	無音	
1	八	
2	ф	1/70
3	大	
4	最大	
5	無音	
6	<b>/</b> J\	
7	ф	1/35
8	大	
9	最大	

位置	音声
ON	女性
OFF	男性

1	位置	ボタンde チャレンジ ドラム速度 (リール)	連打de チャレンジ 連打成功回数	発射強弱
	一上	<b>高速</b> (難易度 高)	35	強
	ф	中速 (難易度中)	25	Ф
	下	<b>低速</b> (難易度 低)	10	<b>K</b>



## 6. 2 各設定方法 (Bタイプ)

- ① 音量の調整および確率の設定を行います。
  - ⇒ 施設様の使用環境に合わせ、無音~大の5 段階のいずれ かに調整して下さい
  - ⇒ 確率は1/15もしくは1/30のいずれかへの設定が可能です。
    - •3~4 分間に1 回の割合でイベント発生(1/15)※
    - •6~7 分間に1回の割合でイベント発生(1/30)※
  - ※ イベント=パチンコ図柄揃い、ボタンdeチャレンジ、連打 deチャレンジ、リズムdeチャレンジのいずれかが発生

音量調整・確率設定つまみ (サブ制御基板ユニット)



番号表示部



位置	苔量	確率
0	無音	
1	少々	
2	八	1/30
3	Ф	
4	大	
5	無音	
6	少々	
7	八	1/15
8	Ф	
9	大	





② ボタン演出リーチ・発射強弱の設定を行います。

#### 「ボタンdeチャレンジ」

⇒ 難易度を(リールの回転速度)を4段階設定とし、内部抽 選により各難易度をランダムに出現させます

#### 「連打deチャレンジ」

⇒ 難易度を(PUSHボタン回数)を4段階設定とし、内部抽 選により各難易度をランダムに出現させます

#### 「リズムdeチャレンジ」

⇒ 難易度を(リズムの速度)を4段階設定とし、内部抽選により各難易度をランダムに出現させます

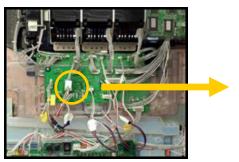
#### 「発射強弱」

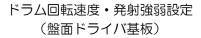
⇒ 球飛び範囲内「弱・中・強」の3段階で調整します

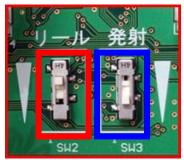
⇒ 次ページへ











拡大

1	立置	ボタンdeチャレンジ ドラム速度 (リール)	連打deチャレンジ 連打成功回数	リズムdeチャレンジ ボタン成功回数	発射 強弱
	上	難易度 高 高速 ※ 超速あり	難易度 高 45 回 ※ 難易度 超 75 回あり	難易度 高 45 回 ※ 難易度 超 75 回あり	強
	ф	難易度 中中速	難易度 中 30 回	難易度 中 30 回	Ф
	下	難易度 低低速	難易度 低 15 回	難易度 低 15 回	<b>KE</b>



## 6. 3 各設定方法 (Cタイプ)

① 音量の調整および確率の設定を行います。

音量調整・確率設定つまみ (サブ制御基板ユニット)









番号表示部

		通常	お助けチャンス	押しボタン押下
位置	望	シーソー確率	シーソー確率	シーソー目押し 難易度
0	無音			
1	少々		7/0	<del></del>
2	小	1/8	7/8	むずかしい
3	Ф			
4	大			
5	無音			
6	少々	. , ,	_ /-	
7	小	1/4	7/8	ふつう
8	Ф			
9	大			

※ 押しボタンを押さない状態で8秒経過すると自動動作へ戻ります





## ② 電飾スイッチの切り替え設定を行います。 (サブ制御基板)

お助け切り替え設定スイッチ (サブ制御基板ユニット)





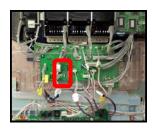


位置 ON 右 OFF 左

位置	お助けチャンス	内容	
ON 右	有り	遊技フロー お助けチャンス有り	
OFF 左	無し	遊技フロー お助けチャンス無し	

#### ③ モード設定を行います。(盤面ドライバ基板)

モード設定スイッチ (盤面ドライバ基板)





拡大



位置	リール	内容
上	シンプル上級モード	通常遊技中の音声無し
ф	標準モード	通常遊技中 音声有り(適宣)
下	初心者モード	通常遊技中 音声有り(フル)



## ④ 発射強弱の設定を行います。(盤面ドライバ基板)

発射強弱設定スイッチ (盤面ドライバ基板)

拡大







位置	発射
上	強
中	Ф
下	정정



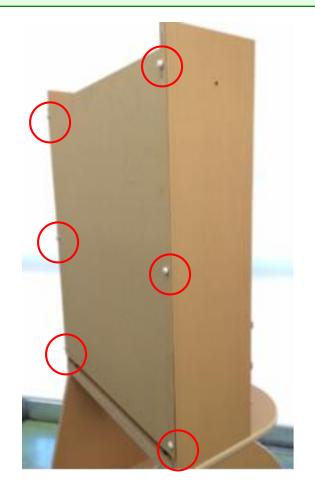
## ⑧ 消音パネルの取り付け

設置台上ユニットの上部2箇所にある位置決めピンを基準に位置を合わせ、消音パネルをユリヤねじにて取り付けます。





#### 赤丸の6箇所をユリヤねじで固定します





## 9 設置台の固定

## 1. 設置台の固定および水平調整

使用工具:ラチェットレンチ(17 mm)、丸型水平器

前後4つのアジャスタボルトを調節して設置台のガタつきを除去します。



手前の2つは赤丸のノブを手で回して 調節します



奥の2つは赤丸のナットをラチェット レンチで回して調節します

安全にかつ正しく使用するため確実に作業を行い、作業後はガタつきがないかを必ず確認をします

丸型水平器を使用し、必ず水平となるように調整して下さい



## 2. 設置台の連結固定

使用工具: スパナ (13 mm)

連結ボルトを使用して、隣接台と連結固定します。







連結ボルトを設置台上部側面の穴に通 し、ワッシャー・スプリングワッ シャー・ナットをはめ込んで固定しま す

#### 連結用スペーサー

設置台を並べて置いた場合、上部側面の間に隙間が生じます。

両面テープを剥がし、設置台上部に 貼付け固定することが可能です。

※ ナットの締付け過ぎにご注意ください。 連結用スペーサーが潰れて設置台が 片寄りしないように!





## ⑩ 未使用部品の保管など

使用しない部備品類については、機材返却時まで施設様にて保管していただきます。

使用しない部備品類のほか、専用球やトレパチカードを入れていた チャック袋など、機材返却時に必要となる物品一式を電源トランスを 入れていた箱の中に収め、、設置台上ユニット背面(カードディスペンサー下)に置いておきます。



施設様にその旨を伝え、移動したり廃棄したり しないように要請します。

機材返却時の機材確認で数量等が合わなくなる恐れがありますので、 作業と伝達を確実に行って下さい

※ 鍵・電源タップ・連結ボルト・連結用スペーサーは設置状況にて異なります。この部品に関して、不要であれば回収していただきます。 後日未来事業室まで返却していただき、出荷連絡票の数量を訂正させていただきます。





## ⑪ 主なトラブル

## 1. 球飛びがおかしい

球飛びが弱すぎる・強すぎるなど、球飛び範囲が適正でない場合は、 盤面ドライバ基板の発射切替スイッチを操作して調整を行います。

( ⇒ 21 ページ参照)



左図の矢印付近に球が着弾するよう、 発射強弱を調整して下さい。

弱打ち状態は下皿への戻り球が発生してしまう恐れがあり、また強打ち状態は専用球が破損する恐れがあります。

気温低下により発射モーターの初動が 弱の場合がありますので、球飛びの様 子をみて調整して下さい。

## 2. PUSHボタンが効かない

下記コネクタに抜け・断線が見られない場合は、表扉の破損が原因と考えられます。

- ① 本体から表扉へ接続されている22 pin [白] コネクタ
- ② サブ制御基板に接続している黄色タグのコネクタ
- ※ 上記コネクタが完全に抜けていると、ランプ・音が反応しません





## 3. 音が鳴らない

断線、スピーカーの破損もしくは音声システムの故障が原因と考えられますので、遊技していない状態でPUSHボタンを押し、スピーカーから音声ガイダンスが聞こえるかを確認します。

3つのスピーカー全てが鳴らない場合は、サブ制御基板の破損の可能性が、そうでない場合は断線もしくはスピーカー自体の破損が考えられます。

## 4. データ表示機が正常に作動しない

データ表示機に関係する全ての配線接続を確認します。

(⇒9-12ページ参照)

- ① データ表示機が点灯していない場合は、通電されていない可能性 が考えられます
- ② スタート回数や大当り回数などのカウントが変化しない場合には、 配線類のコネクタ抜けか、断線の可能性が考えられます





## 5. 設置台が破損している

設置台に剥がれや破損等を発見した場合は、状況や程度によって清掃、補修もしくは機材交換を行います。

剥がれや破損が軽微な場合には、 木工用ボンド等を用いて補修を 行います。



剥がれや破損状態が著しい場合には、 補修ではなく機材の交換にて対応し ます。



補修を行う際には、必ずお客様に状況を説明し、承諾を得てから作業を行うようにして下さい。また補修の必要がないと思えるごく軽微なキズや破損、破損状態が著しく交換を要する場合においても、必ずお客様に状況を説明して下さい。





## 6. 電源が入らない

- ① プラグはコンセントに挿してありますか?挿してない → プラグを挿します↓
- ② トレパチ本体と設置台、電源トランスは接続されていますか? 接続されていない → 各配線を正しく接続します↓
- ③ トレパチ本体の電源スイッチはONになっていますか?
  ONになっていない → トレパチ本体の電源スイッチを入れます
  ↓
- ④ 電源基板の緑色LED(4つ)は点灯していますか?点灯していない → 電源基板の故障の可能性があります(電源基板を交換)
- ⑤ 電源基板の黄色タグ付ハーネスは接続されていますか?接続されていない → 電源基板の黄色タグ付ハーネスを接続します

電源基板以外のトラブルの可能性があります



## 7. カードが払い出されない

- ① カード払出口のLEDは黄色で点滅していませんか? 点滅している → カードを補充します↓
- ② カード払出口のLEDは赤色で点滅していませんか? [1] 点滅している → カードとおもりを正しくセットし、バックアップクリアスイッチを押します
- ③ カード払出口のLEDは赤色で点滅していませんか? [2]点滅している → 不良カードを除去し、バックアップクリアスイッチを押します↓
- ④ カードディスペンサーの配線は接続されていますか?接続されていない → カードディスペンサーの配線を接続します↓

カードディスペンサーが故障している可能性があります



## 8. 上皿に専用球が戻ってこない

① 盤面内に専用球がひっかかって詰まっていませんか?詰まっている → 盤面内の球を除去して上皿に戻しますI

#### 循環機構部(裏球通路)に専用球が詰まっています

→ 専用球の破損または通路内に異物が混入している可能性があります ので、盤面を取外して異物を取り除きます





## I. オプションについて

- 「助ダチくん」・「エアロビック・トレパチ!」を使用する場合、 取り付け専用の部品を取り付ける必要があります。
- ※ 受注時に組付けする場合と、後日、追加オプションとして組付 け作業を行う場合があります
- 「エアロビック・トレパチ!」仕様の接続方法は、「助ダチくん」 仕様とほぼ同じですが、一部接続が異なります。
- ※ 運動器具側のコネクタハーネスをターミナルへ接続することで 通常の遊技が可能となります

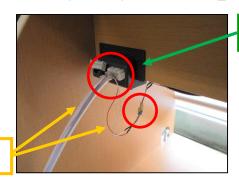
(⇒44-45ページ参照)





#### Ⅱ エアロビック・トレパチ!について

- 1. 運動器具の接続方法
- ① 設置台(下ユニット)接続ターミナルのコネクタ接続部に運動 器具側ハーネスを接続します。(2箇所)
- ② 運動器具の動作を行い球が発射されるか確認します。



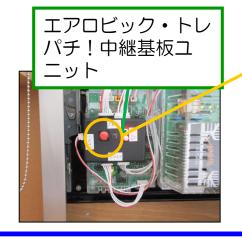
接続ターミナル

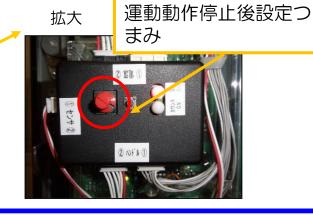
運動器具側ハーネス

- 2. エアロビック・トレパチ!中継基板ユニットの設定方法
- ① 運動動作停止後の球飛び秒数の設定
  - ⇒ 「運動動作停止後設定つまみ」にて運動動作停止後の球飛び 秒数の設

定ができます

- ⇒ 運動動作停止後の球飛び秒数は「O~9 秒」を選べます
- ※ 出荷時設定は「1秒」です ※ 「O」では球飛びされません





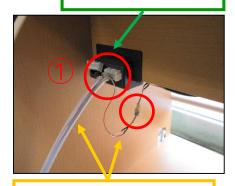
40



## 3. トレパチ!本体の遊技方法

- ① 設置台(下ユニット)接続ターミナルのコネクタ接続部の運動器具側ハーネスを外します。(2箇所)
- ② トレパチ!本体側ハーネスを右側のハウジングへ接続します。
- ③ トレパチ!本体のハンドル動作を行い、球が発射されるか確認します。

#### 接続ターミナル



運動器具側ハーネス



トレパチ!本体側ハーネス



コネクタ部は、爪でロックされる機構となっています。 接続する場合は、爪がロックするまで押し込みます。 外す場合は、爪を押し上げるようにして外します。





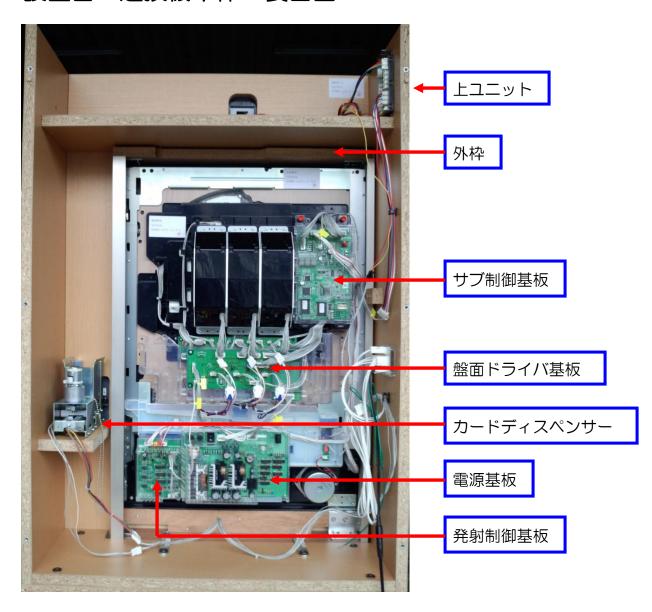
# 設置台•遊技機本体各部名称 設置台•遊技機本体 正面図



- ※1 仕様が変更される場合がございます
- ※2 機種によりデザインが異なります



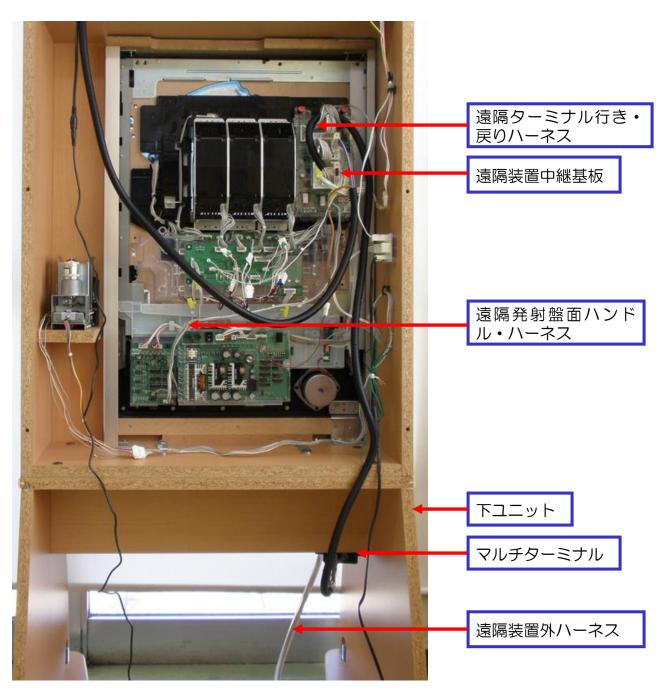
## 設置台•遊技機本体 裏面図



※1 仕様が変更される場合がございます



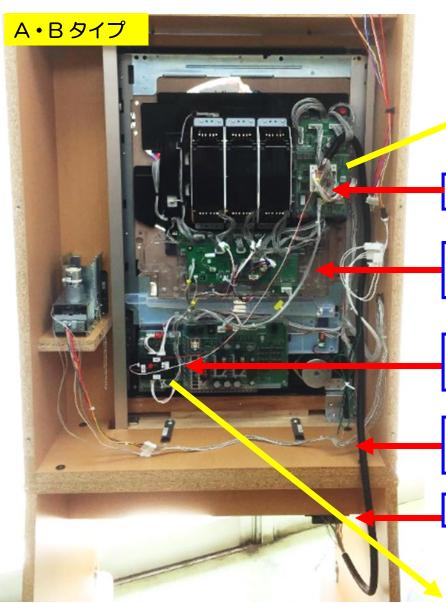
## 設置台・遊技機本体 裏面図(助ダチくん仕様)



※1 仕様が変更される場合がございます



## ■ 裏面図(エアロビック・トレパチ!)



※1 仕様が変更される場合があります



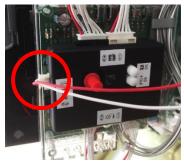
遠隔装置中継基板

遠隔発射盤面 ハンドルハーネス

エアロビック・トレパチ! 中継基板ユニット

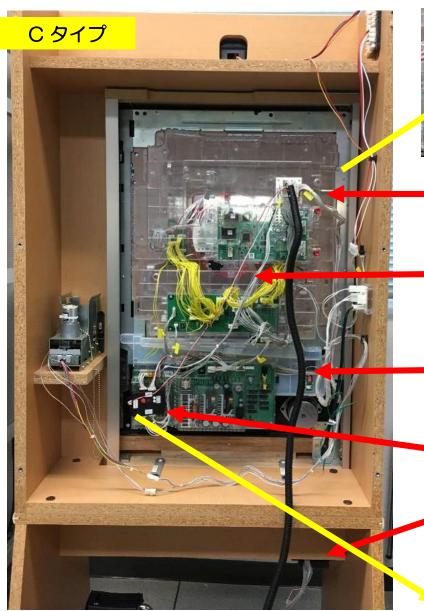
遠隔ターミナル 行き・戻りハーネス

マルチターミナル

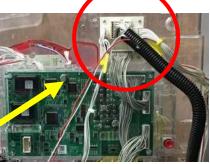




■ 裏面図(エアロビック・トレパチ!)



※1 仕様が変更される場合があります



遠隔装置中継基板

遠隔発射盤面 ハンドルハーネス

遠隔ターミナル 行き・戻りハーネス

エアロビック・トレパチ! 中継基板ユニット

マルチターミナル

